


| 活動名 | | ソロ炊飯 | | | |
|---------|--|------|--|--|-----------|
| 概要 | ○一人用土鍋でご飯を炊く。 (雨天の場合はグループ炊飯) | | |  | |
| ねらい | ○自分の力で炊飯することの苦労や達成感を味わう。 ○野外炊飯の基本的な知識を身につける。 ○困っている友だちを見守ったり、声を掛け合ったりしながら作業を進める。 | | | | |
| 関連教科等 | 家庭・理科・総合 | | | | |
| 指導形態 | ①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う | | | | |
| 時期 | 通年 | 時間帯 | 朝 | 対象 | 高学年～ |
| 場所 | 第1炊飯場 第2炊飯場 | 人数 | 30人以内 (ペア・トリオグループ可) | 所要時間 | 2.5～3.5時間 |
| 準備物 | 施設で準備できるもの | | 団体・個人で準備するもの | | |
| | 食材一式、炊飯用具一式、割木、 運搬用リヤカー、ガスコンロまたはポット | | 軍手、タオル | | |
| 進め方・展開例 | | | | | |
| 内容 | | | 留意点 | | |
| 活動前 | ○事務室で打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、活動の進め方 ・食材の運搬について | | ○職員の指導が活動の説明のみの場合は、説明後の進め方、片づけ方を確認する。 | | |
| 活動の説明 | ○食材の搬入、及び用具の数を確認する。 ○作業手順を確認する。 ○班ごとに場所を決め、活動を開始する。 | | ○食材を運ぶ人数は各班1～2人。 ○用具の使い方やご飯の炊き方等を説明する。 ○説明の間に食材分配準備をする。 (大人の方で)(米→コップ8割が一人分) | | |
| 展開 | ○米とぎの作業。 ○かまどの設置。 ○火おこし。 ○ご飯が炊けたら、即席味噌汁にお湯を注ぐ。 ○食事 ○片づけ。 ・土鍋を砂で磨き水洗いする。 ・食器を洗剤で洗う。 ・かまどを片づける。 ・食器、用具を片づける。 ・炊飯場を掃除する。 ・食堂の用具は食堂に返納する。 | | ○必ず指導者がつく。 ○焚き付けは周辺の枯れ葉、枯れ枝でもよい。 ○中身がないことを確認して砂で磨く。 ○用具一式は、数を確認し返納する。 | | |
| まとめ | ○活動を振り返りながら、楽しく食事をする。 ○難しかったところ、工夫したところ、感想などを発表する。 ○野外炊飯活動の楽しさと、マナーの大切さについてふれておきたい。 | | | | |
| 評価 | ○一人で炊飯することの達成感を味わうことができたか。 ○野外炊飯の基本的な知識を身につけることができたか。 ○班でお互い助け合いながら、楽しく意欲的に活動ができたか。 ○注意事項等を、しっかり聞いて守ることができたか。 | | | | |
| 発展 | ○マッチではなく、火打ち棒で火をつける体験も効果的である。 ○防災教育の一環として、災害発生時の炊飯の仕方についての学習としてもよい。 | | | | |

ソロ炊飯の片づけについて

第2炊飯場

はじめに

* 残飯はそのままポリバケツへ捨てる
(ポリバケツには残飯だけを入れる)



* 味噌汁の袋はゴミ袋へ



* 食堂から持ってきたかごやバットなどは食堂に返す

* 【土鍋】、【食器類】、【かまど】の片づけをする
(片づけについては各カード参照)

* 終わったらテーブルの周りの掃除や、
他の片づけの手伝いをする

連絡は
事務室：内線64

かまど・道具の片づけ

* 必ず軍手か皮手袋をして掃除する

* 指定の場所に片づける

* 熱いので注意

* 収納庫のほうきや十能を使う

* 燃えカスなど、すべて指定のバケツへ

* 鉢台、マッチ、火打ち棒等を担当者に返す

* 大人のチェックを受けて終わる



食器類の片づけ

どんぶり・スプーン

洗剤で洗う

食器をそれぞれもとあった場所にもどす

すべて自然乾燥です
水気をよく切って！

大人のチェック後、棚に片づける

土鍋・やかんの片づけ

土鍋・やかん

* 水を流して、内側のぬめりを洗う

砂場で金だわしや、ぬらした砂をつけた布でみがく
(外側だけではなく、内側もきれいにみがく)

仕上げに流して洗剤をつけて洗う

大人のチェック後、棚に片付ける

※次に使う団体のため、どうかよろしくお願いします